

# 第3期唐津市教育大綱骨子案について

---

令和6年度第2回  
唐津市総合教育会議

令和6年8月9日（金）16：00～

# はじめに

## ○ 大綱の位置づけ

唐津市教育大綱は、第3次唐津市総合計画に掲げる基本目標の実現のために、本市の教育について、目指す方向性や根本的な方針を定めたものです。

大綱のもと、教育に関する個別の施策と具体的な取組については、唐津市教育の基本方針で定めます。

## ○ 大綱の期間

大綱の対象とする期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。ただし、大綱の策定後に、社会情勢の変化等により、策定時には想定されなかった教育上の課題が新たに生じた場合は、見直しを行います。

# 基本理念

(案1)自ら学び、郷土を愛する人をはぐくむ  
(案2)共にはぐくみ未来につなぐひとづくり  
(案3)唐津を愛し未来を拓くひとづくり

## ○ 目指す姿

- 夢や誇り、人を想う優しさをもった子どもを育てるための体制が整っている。
- たくさんの体験を通し、経験を積みながら学ぶための学校環境が整えられている。
- 地域住民の生涯学習を通じた自己実現と地域社会や地域コミュニティの創造への参画が可能な体制が整えられている。
- 唐津の歴史や文化・芸術に触れる機会を多く提供し、豊かな情操や創造性を培い、世代を問わず郷土への愛、誇りを育てることができる環境が整えられている。
- 先人が残した文化財を次世代に継承するための体制が確立されている。
- 多様な人それぞれが幸せや生きがいを感じ、尊重される共生社会が実現されている。

# 基本方針1

## 唐津の未来を担うひとづくり

- 自分で考え行動できる子どもの育成。
- 豊かな感性や想像力、表現力をもった子どもの育成。
- 「認めて、ほめる」教育の推進。
- 「個に応じた最適な学び」と「多様な人々との協働的な学び」の充実。
- 本物に触れる体験を通した学びとキャリア教育の充実。
- 多様性の理解促進と共に学ぶ機会の充実。
- 国際社会に対応するための、英語コミュニケーションの育成。
- 幼保小連携の推進による幼保から小への円滑な接続。
- 魅力ある学校づくりと誰一人取り残さない支援。
- 未来を担うこどもたちが、自ら学べる「居心地のよい学校」づくり。

## 基本方針2

### 歴史・文化財の継承と 創造力に満ちたひとづくり

- 学習機会の充実による心の豊かさとながらづくり。
- 公民館・図書館を活用した創造力に満ちた人材育成。
- 本を通した、子どもの健やかな成長の応援。
- 絵本の読み聞かせを通した、地域での子育ての応援。
- 身近に文化芸術・読書に親しめる環境の整備。
- 地域で受け継がれてきた祭りや伝統行事などの継承支援。
- 史跡や歴史的建造物などの保護・整備と活用。
- 文化財・歴史遺産に関する普及啓発活動の実施。

# 基本方針3

## 共に認め合い支え合うひとづくり

- 社会の多様化に対応するための、あらゆる偏見や差別をなくすための教育の実施。
- 市民一人ひとりの人権意識の向上。
- 個人個人がかけがえのない人間として尊重される社会の実現。
- 幸せや生きがいを感じる人権教育の推進。